



8/27 飛島診療所の常勤医師決まる

飛島診療所の常勤医師の不在が1年5か月続いていましたが、野口健一氏（内科医師）に決まり、市長から辞令が交付されました。野口氏は8月29日に着任し、9月2日から診療を開始しました。

8/29 新商品開発の拠点に

酒田市雇用創造協議会新商品開発研究センター（亀ヶ崎六丁目）の内覧会が行われました。同センターには、急速凍結庫や小型フードスライサーなどの機器が備えられており、酒田産農林水産物を活用した新商品開発の拠点となることが期待されます。

9/3 体の可動域を高めるストレッチ

冬季五輪日本代表選手を指導された松村卓氏を講師に招いて骨ストレッチ体験講座が総合文化センターで開催されました。体の正しいほぐし方などを学び、スムーズな体本来の動きを体験しました。



9/5 新生児への新たな贈り物

花王株式会社が新たに紙おむつの工場を建設し来年から生産を開始することを記念して、同社から本市に紙おむつと誕生カードが継続的に寄付されることになりました。このたび9月1日以降に出生届を提出した方に紙おむつと誕生カードがプレゼントされました。



9/8 災害に備えて

山形県立産業技術短期大学校庄内校で、大地震を想定した総合防災訓練が行われました。当日はあいにくの雨でしたが、多くの住民が参加し、いざというときの対処方法を確認しました。



9/8 市民芸術祭開幕公演

第57回酒田市民芸術祭の開幕を祝い、「まつり」—祠・奠・祭—をテーマとした開幕公演が行われました。平成26年1月まで市内で活動するさまざまな団体による発表などが行われます。

Zoom Up

ズームアップ!さかた
私の街さかた。あの日あの時。



9/9 飛鳥II ウラジオストクへ出航

9/13 にっぽん丸出港

日本有数の客船「飛鳥II」の出航に伴い、酒田港古湊ふ頭で式典が行われました。青空の下、乗客約380人を乗せた飛鳥IIは酒田港～ウラジオストクへのクルーズに出航しました。また9月13日には、客船「にっぽん丸」も酒田港に寄港し、式典が行われました。

9/13 アイデア満載の作品が いっぱい

第49回酒田創意くふう展が酒田勤労者福祉センターで行われ、小中学生、高校生の作品、242点が展示されました。訪れた市民は子どもたちのアイデアに感心しながら作品に見入っていました。



9/14 万が一の海難に備えて

県内11救難所による山形県合同海難救助訓練が酒田港を会場に開催されました。救助員約400人が参加し、救命索発射やゴムボート操法などの競技を実施したほか、船舶火災を想定した放水訓練や県防災ヘリによる乗組員の収容訓練などの総合海難救助訓練を行いました。

9/20 千の音色でつなぐ 絆コンサート

東日本大震災のがれき、そして「奇跡の一本松」から作られたバイオリンと、ハープによるコンサートがひらたタウンセンターで行われました。その音色同様、観客の心まで優しくしてくれるコンサートでした。



9/22 異文化に触れて 国際交流

さまざまな異文化体験を通して交流を深める国際交流まつりin中町2013。会場となった交流ひろばは、英語であそぼう! 課外授業や7か国の外国料理販売、ステージショーなどを楽しむ家族連れなどにぎわいました。



取材 ノートから

巨大で精悍な客船 飛鳥IIとにっぽん丸がたて続けに寄港。その姿に圧倒されるも、港の風物に(す) ▶ 雨中の巡回駅伝。激しい雨をものともしないランナーの真剣な表情に、スポーツの秋到来を感じました(ま) ▶ 小中学生、高校生のアイデア満載の作品に驚きっぱなし。来年度もさかた創意くふう展が楽しみ(お) ▶ 食欲・芸術・スポーツと、秋は何かに夢中になるのにいい季節。オリジナルの「○○の秋」を探してみようかな(み)